

青森新都市病院 キャリアサポート モデル プログラム

医療法人 雄心会 青森新都市病院

【教育目標】

1. 法人の理念「良質かつ適切な医療を最良の環境で提供できる病院を目指して」を理解し、地域に必要とされている専門性の高い医療・救急医療に貢献できる看護師の育成。
2. 看護部の理念「患者さんによりそい、最良の環境で、質の高い看護の提供を目指します」を理解し、組織の一員として行動できる看護師の育成。
3. 患者さんの権利を尊重し、患者・家族の意思決定支援ができる看護師の育成。
4. 地域包括ケアシステムを理解、地域における病院の機能・役割を踏まえて、患者さんの生活・社会復帰を支援できる看護師の育成。
5. 専門職として自律性を持ち、必要な知識・技術・態度を学び、実践・指導できる看護師の育成。
6. 青森県・青森圏域（以下地域とする）における保健・医療・福祉を理解し、チーム医療を推進、多職種による地域連携ができる看護師の育成。
7. 脳と健康科学研究センターと連携し、地域医療に貢献できる研究・教育が実践できる看護師の育成。

【プログラム】6年間のローテーション勤務

	急性期	回復期	慢性期
	青森新都市病院	青森新都市病院 回復期リハビリテーション病棟	① 新都市訪問看護ステーション （訪問診療・看護） ② 新都市砂原病院（人工透析） ③ 社会福祉法人雄心会施設
期間	4年	1年	1年
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人及び看護部の理念を理解できる。 2. 地域における急性期病院の機能、役割を理解できる。 3. 急性期病院における治療・検査・処置・ケア等を理解し、チーム医療の一員として役割を認識し看護実践ができる。 4. 専門職として自主的に、知識・技術・態度を学び、実践できる。 5. 保健・医療・福祉・地域包括ケアシステムを理解できる。 6. 患者・家族の意思決定支援ができる。 7. 多職種連携の基、患者の退院支援及び、生活・社会復帰を支援できる。 8. 青森県及び青森圏域における地域医療・救急医療の現状と課題を理解できる。 9. 研究的・科学的思考の能力を養い、地域医療に貢献できる研究・教育を実践できる。 10. 医療安全、感染対策に関する知識を深めセーフティマネジメントができる。 11. 科学的根拠に基づいた実践・指導ができる、OJTができる。 12. 脳の働きを理解し、健康寿命を改善する取り組みに参加できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における回復期病院の機能、役割を理解できる。 2. 患者・家族の意思決定支援ができる。 3. 回復期リハビリテーションについて理解し、チーム医療の一員として役割を認識し看護実践ができる。 4. 多職種連携の基、患者の退院支援及び、生活・社会復帰を支援できる。 5. 地域における保健・医療・福祉サービスについて理解し、患者の生活に必要なサービスを知ることができる。 6. 青森県及び青森圏域における地域連携の現状と課題を理解できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅医療・看護・介護について理解できる。 2. 訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所について理解できる。 3. 医療保険・介護保険について理解し、サービス提供の仕組みを理解できる。 4. 訪問診療、訪問看護の実践ができる。 5. ACPについて理解できる。 6. 人工透析に至る背景を理解し、人工透析看護について学ぶ。（実践できる） 7. 社会福祉法人について理解し、介護現場を知る。（介護老人福祉施設、複合型施設、養護老人ホーム） 8. 地域における保健・医療・福祉サービスの現状と課題を理解できる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人の理念、看護部の理念を理解し、組織の一員として行動できる。 2. 正確な知識・技術を習得し、マニュアルに沿って安全に看護を提供できる。 3. チームにおけるメンバーの役割を理解し、協働できる。 4. 自己の課題を認識し、自主的に学習できる。 5. 自己目標をチームの目標、部署目標に連動させ、目標達成に取り組める。 6. 所属部署のリーダーの役割を認識し、協力できる。また、リーダーの役割ができる。 7. 所属部署の看護実践を自立してできる。 8. リーダーシップを発揮し、指導的役割を担える。 9. 複雑な状況においても、適切な判断・適切な行動をとることができる。 10. 科学的根拠に基づいた看護技術の提供をチームワークでできる。また、指導できる。 11. 課題解決のため、考えること、調べること、確認すること、実行すること、評価すること、変更すること等ができる。 12. 患者の入院前の生活を理解し、退院後の生活をイメージできる。 13. 患者・家族の意思決定支援ができる。 14. 多職種の役割を理解できる。 15. 退院支援について理解し、多職種連携ができる。 16. 挨拶・連絡・相談ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回復期リハビリテーション病棟の役割を理解できる。 2. チーム医療の一員として役割を認識し、標準的な看護実践ができる。 3. 患者の生活・社会復帰について考え、看護実践ができる 4. 地域における保健・医療・福祉サービスについて理解できる。 5. 患者の生活に必要なサービスを知ることができる。 6. 多職種連携の基、患者の退院支援ができる。 7. 青森県及び青森圏域における地域連携の現状と課題を述べる 8. 地域に向けた情報発信や提案をすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅医療・看護・介護について知識を得ることできる。 2. 訪問診療、往診、訪問看護、訪問リハビリテーションの実践により、生活の場での患者を理解できる。 3. 慢性期の患者への必要な看護実践ができる。 4. ACPについて知識を得、考えることができる。 5. 終末期における患者・家族の意思決定支援ができる。又は、ACP作成に係わる事ができる。 6. 医療保険・介護保険について理解し、サービス提供の実際に係わることができる。 7. 慢性期からまた、急性期移行する場合などの変化に対応し、連携することができる。 8. 人工透析に至る背景を理解できる。 9. 人工透析看護についてまなび、実践に係わることができる。 10. 社会福祉法人について理解できる。 11. 介護老人福祉施設、複合型施設、養

	<p>17. 職員身だしなみ基準を守ることができる。</p> <p>18. 丁寧な言葉遣い、態度で勤務することができる。</p> <p>19. 良好な人間関係を構築することができる。</p> <p>20. 患者・家族・職員間での適切なコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>21. 医療安全、感染対策に関する知識を深め、適切な実践ができる。</p> <p>22. 所属する部署、地域医療、救急医療等の現状を理解し、課題抽出することができる。また、解決のための計画、実践ができる。</p> <p>23. 看護研究に取り組むことができる。</p>		<p>介護老人ホームの介護現場を知ることにより、必要な看護のあり方と医療介護の連携について述べるることができる。</p> <p>12. 地域における保健・医療・福祉サービスの現状と課題を述べることができる。</p>
方法	<p>【勤務部署】本人希望により①又は②を選択できる</p> <p>1. 外科・整形外科病棟に2年間勤務する</p> <p>2. ①脳外科病棟に2年間勤務又は、②脳外科病棟に1年高度治療病棟に1年間勤務する</p> <p>【年数別特記事項】</p> <p><1年目></p> <p>1. 入職時研修、看護技術研修・演習</p> <p>2. 一次救命処置 BLS 取得</p> <p>3. チームメンバーとして、基本的な看護を提供する</p> <p>3. 急性期病棟での患者・家族の意思決定支援を経験する</p> <p>4. 受け持ち患者のリハビリカンファレンスや退院調整カンファレンスに参加する</p> <p>5. 看護の振り返り事例をレポートにまとめ、発表する</p> <p><2年目></p> <p>1. 二次救命処置 ACLS 取得</p> <p>2. チームリーダーを経験する</p> <p>3. 多職種連携により、退院支援をする</p> <p>3. 地域活動への参加する（例）マンモサンディー、地域研修会の開催、認知症ケア等）</p> <p>4. 看護研究に取り組む（研究計画書の作成）</p> <p><3年目></p> <p>1. 神経救急蘇生 ISLS（入職3年目取得）</p> <p>2. 脳の働きを理解し、評価できる</p> <p>3. 急性期病棟において、新人を指導する</p> <p>4. 看護研究を継続する</p> <p><4年目></p> <p>1. チーム医療メンバーとして、専門性の高い医療の提供に参加できる</p> <p>2. 地域医療・救急医療の現状と課題をまとめる</p> <p>3. 看護研究又は、上記課題について発表する</p> <p>【具体的な教育・研修方法】</p> <p>1. 集合研修</p> <p>2. eラーニング</p> <p>①ビジュアルナースングメソッド（看護技術）</p> <p>②ナースングサポート</p> <p>③トピックス（随時、追加研修）</p> <p>3. OJT</p> <p>4. 演習</p> <p>5. 院外研修</p>	<p>【勤務部署】</p> <p>1. 回復期リハビリ病棟</p> <p>【特記事項】</p> <p>1. 受け持ち患者のリハビリカンファレンスや退院調整カンファレンスに参加する</p> <p>2. 退院先・療養先選択のための意思決定支援を経験する</p> <p>3. 受け持ち患者の退院時同行訪問を経験する</p> <p>4. 多職種連携による家屋調査を経験する</p> <p>5. 看護の振り返り又は、回復期についての現状と課題をまとめる。</p> <p>【具体的な教育・研修方法】</p> <p>左記と同様</p>	<p>【勤務部署】本人と相談、期間を決定</p> <p>1. ①訪問看護ステーション（合計10～11カ月）</p> <p>2. 訪問看護ステーション勤務が6カ月を過ぎたら、②の新都市砂原病院と③社会福祉法人施設の見学・実習（合計1カ月程度）</p> <p>【特記事項】</p> <p>1. 訪問診療・訪問看護を経験する</p> <p>2. 利用者に必要なサービス提供について、意思決定支援をする</p> <p>3. ACPの事例を経験する</p> <p>4. 慢性期医療または、在宅医療・看護・介護について現状と課題をまとめる</p> <p>【具体的な教育・研修方法】</p> <p>左記と同様</p>
評価	<p>1. ラダー評価（面接含む）</p> <p>2. 態度評価（面接含む）</p> <p>3. 目標設定シートの評価（面接含む）</p> <p>4. レポート評価</p> <p>5. eラーニング受講と看護実践</p> <p>6. 振り返りや、課題についての発表</p> <p>7. 看護研究への取り組みや発表</p> <p>8. 地域活動の有無</p>	<p>1. ラダー評価</p> <p>2. 態度評価</p> <p>3. 目標設定シートの評価</p> <p>4. レポート評価</p> <p>5. eラーニング受講と看護実践</p> <p>6. 振り返りや、課題についての発表</p> <p>7. 看護研究への取り組みや発表</p> <p>8. 地域活動の有無</p>	<p>1. ラダー評価</p> <p>2. 態度評価</p> <p>3. 目標設定シートの評価</p> <p>4. レポート評価</p> <p>5. ACPの事例</p> <p>6. eラーニング受講と看護実践</p> <p>7. 振り返りや、課題についての発表</p> <p>8. 地域活動の有無</p>